

の決断を形にし、問題 文言の詰めを急ぐ構えを解決したい」と強調しだ。

# びるた

小園 亮次

## 全裸で泳いだ地中海

数年前、学会で地中海のクレタ島に行った。誰も知り合いに会うことのない、小さな学会である。飛行機が灯もまばらな古代文明の島に着陸する。空港を出ると真っ暗でまともなタクシー乗り場もない。同じ学会に出席するというアフリカの学者と乗り合いで、暗闇をしばらく走って学会場近くの小さなホテルに到着した。海の音がザーザー聞こえるコンクリートの壁の部屋で、その日は寝た。



眼下に地中海がみえた。右手に真っ黒い半島が横たわっている。地中海は内海というのに想像以上に広く、

水平線が見渡せた。古代人は本当にこんな海に漕ぎ出して、戦いや交易をしたのだろうかと思う。明るく静かな地中海はなぜか退廃的なおいを感じさせた。幾つもの古代文明を生み、帝国の栄華や、戦いに敗れた兵士の血をのみこんできたためであろうか。この海には、ここで生きた人間の業がすべて溶けて煮詰まっている。そんなふうに思えた。

丘を下って、金持ちの別荘が並ぶ海岸線を歩く。ここだけの岩の海岸に遊歩道と、所々にポストをつける木の栈橋が設けられている。栈橋に座っていて、どうしても地中海の水に付きりたくなった。水着はないけど、誰も見ていない。全裸になってジャポンと飛び込む。ふんわりと浮き上がるような感じ。やはり地中海の水は濃かった。(小園内科・循環器科院長 三原市)